設置説明書

IH クッキングヒーター

品番

3口IHタイプ

Fシリーズ <赤外線式換気連動対応>

KZ-F1T6XST　KZ-F1T6XKT

2口IH+ラジエントタイプ

Jシリーズ <赤外線式換気連動対応>

KZ-J1H6AST　KZ-J1H6AK
KZ-J1H6AS

Nシリーズ

KZ-N1H6AS　KZ-N1H6AK

2口IHタイプ

F(低電気容量)シリーズ <赤外線式換気連動対応>

KZ-F1W6CL

※この説明書はKZ-F1T6XSTのイラストで説明しています。

Panasonic

●設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。特に**「安全上のご注意」(下記)は、設置前に必ずお読みください。**

●ガス機器から付け替える場合

ガス事業者に連絡しないでガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。

事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓や不使用のガス栓へのプラグ止めはガス事業者に依頼してください。

●試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。

●本機は約30 Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60 A以上にすることをおすすめします。
60 A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の消費電力を4800 Wに切り換えることをおすすめします。
<F(低電気容量)シリーズは除く>

●本機は、ビルトイン電気オーブンレンジの排気口を接続する「後方排気システム」に対応していません。

1 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。

❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

❗

●**電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う**
(接続･固定が不完全な場合、漏電･火災の原因)

●**200 V・30 A以上(F(低電気容量)シリーズは15 A以上)の専用回路と漏電遮断器を設置する**
(この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因)

●**アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う**

●**アースを確実に取り付ける**
(漏電すると、感電の原因)

⃠

●**絶対に分解・修理・改造は行わない**
(火災・感電・けがの原因)
・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。

●**トッププレートに強い衝撃を加えない**

・上に乗ったり、工具・鍋などを落とさない
・コーナー部を強い力で押さえない

(万一ひびが入ったり割れたりすると、感電や過熱・異常動作の原因)

●**試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない**
(やけどの原因)

⚠注意

❗

ワークトップは、耐熱材料を使う

熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の物

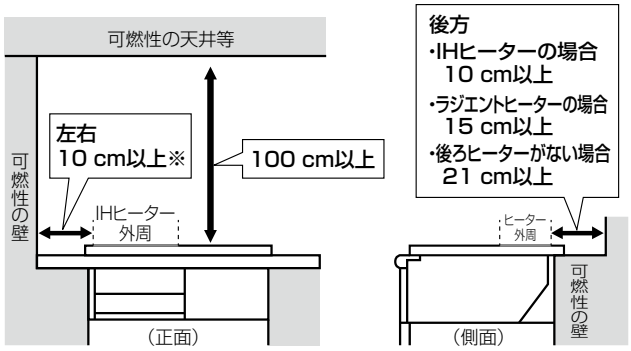
(耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因)　※ニス引きのものは変色するため使わない。

2 設置場所 / 外形寸法

壁からの距離

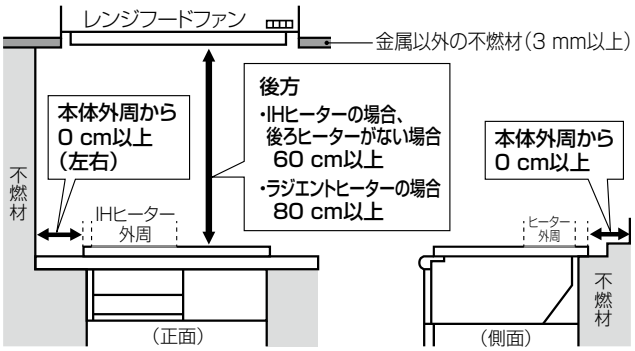
火災予防条例、電気設備に関する技術基準に従って設置してください。
〔消防法　基準適合　組込形　特定安全IH調理器適合品※〕※後方がラジエントヒーターのものは除く

■可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合



グリルを引き出すため、前面は60 cm以上開放してください。

■レンジフードおよび不燃材の場合



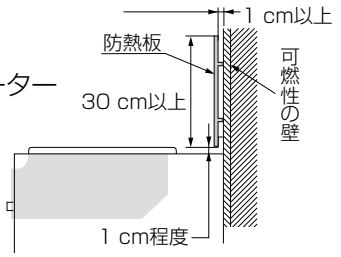
グリルを引き出すため、前面は60 cm以上開放してください。

※レンジフードの設置ずれ（左右・前後）が大きいと、換気連動が働かない場合があります。
※換気連動モデルを近接して複数設置されると、機器の信号どうしが影響し、誤動作する場合があります。

■上記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーター（またはラジエントヒーター）を中心に、左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、右図と同じ距離を設けてください。



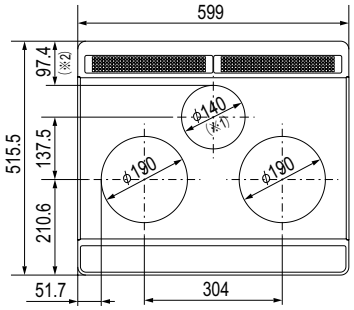
お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています）

外形寸法図

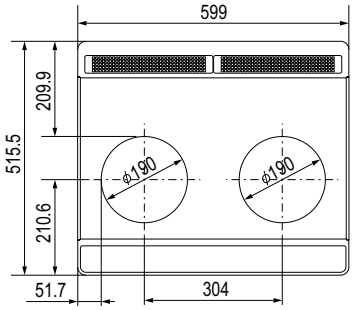
（単位:mm）

■平面図

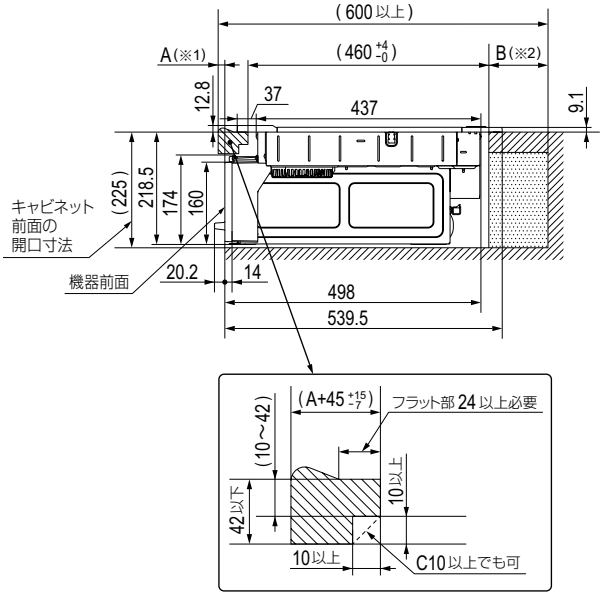


- ラジエントヒーターの場合は、下記寸法です。
※1：152
※2：91.4

＜F（低電気容量）シリーズ＞



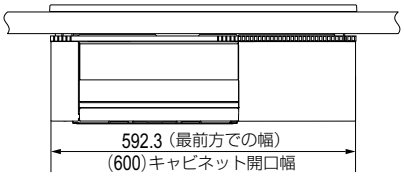
■側面図



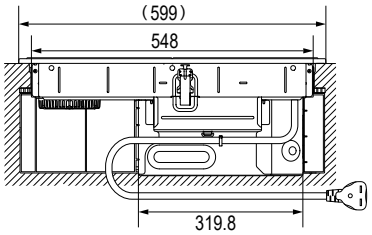
※1：A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。
※2：B寸法（後方スペース）80 mm以上あれば、パナソニック（株）製の露出コンセント（P.3）が使えます。

- コード長さ：約0.9 m

■正面図

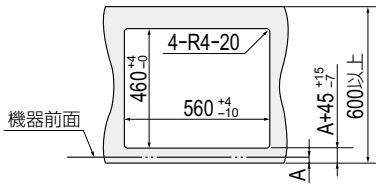


■背面図



■取り付け穴

（ワークトップ切り込み寸法）



3 電気工事

専用回路の設置

	F/J/Nシリーズ	F（低電気容量）シリーズ	
専用回路	**ブレーカー付き単相200 V・30 A**	**ブレーカー付き単相200 V・15 A**	※20 Aの専用回路を設置する場合の屋内配線用電線は単線直径2.0 mm以上または、より線3.5 mm^2
	三相200 V（動力電源）は使わない（故障の原因）		
屋内配線用電線	単線直径2.6 mm以上または、より線5.5 mm^{2}以上	単線直径1.6 mm以上または、より線2.0 mm^{2}以上	

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合はそれに従ってください。

漏電遮断器の設置

●推奨漏電遮断器＜パナソニック（株）製＞

	F/J/Nシリーズ	F（低電気容量）シリーズ	
		15 Aの専用回路を設置する場合	20 Aの専用回路を設置する場合
品　番	BJS3022N（HBモジュール）またはBSHE23022（コンパクトタイプ）	BJS1522N（HBモジュール）またはBSHE21522（コンパクトタイプ）	BJS2022N（HBモジュール）またはBSHE22022（コンパクトタイプ）
定格電流	30 A	15 A	20 A
感度電流	15 mA	15 mA	

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

※D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの一極接地用に配線してください。）

■コンセントの種類・位置

●推奨コンセント＜パナソニック（株）製＞

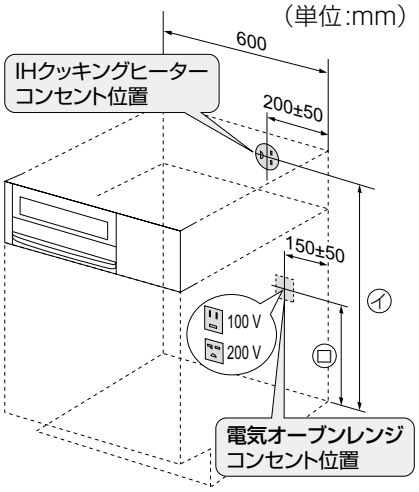
	IHクッキングヒーター 200 Vコンセント		電気オーブンレンジ	
			100 Vコンセント	200 Vコンセント
	F/J/Nシリーズ	F（低電気容量）シリーズ		
定格	単相250 V・30 A（接地2P）	単相250 V・15 A（接地2P）	単相125 V・15 A（接地2P）	単相250 V・20 A（接地2P）
品番	（埋込型）WF3630B または （露出型）WK36301B WK36301W	（埋込型）WN1112K または （露出型）WK3012 ※15 A/20 A兼用コンセントもご使用いただけます	（埋込型）WN1031K WN1031HK	（埋込型）WN1932 または （露出型）WKS294

●コンセントの取り付け位置

キッチン高さ	IHクッキングヒーター ㋑寸法	電気オーブンレンジ ㋺寸法
850 mm	700±15 mm	商品によって異なります。詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。
800 mm	650±15 mm	

※据置用枠を使う場合は、据置用枠に添付の説明書をご覧ください。

（単位:mm）



■仕切り板より下にコンセントを設置する場合（仕切り板のあるキャビネット）

ホールソーなどを使い、下記の大きさの穴を開ける。

＜F/J/Nシリーズ＞ φ60 mm以上φ100 mm以下

＜F（低電気容量）シリーズ＞ φ48 mm以上φ60 mm以下

※穴を塞ぐときは、シーリングプレート（あっせん品）を貼り付けてください。

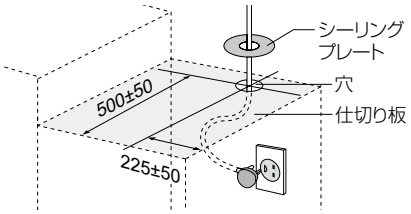
●シーリングプレート

＜F/J/Nシリーズ＞ 品番:KZ-042(外径約140 mm、内径約30 mm)

＜F（低電気容量）シリーズ＞ 品番:KZ-043(外径約100 mm、内径約9 mm)

「お買い求め先」にお問い合わせください。

※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

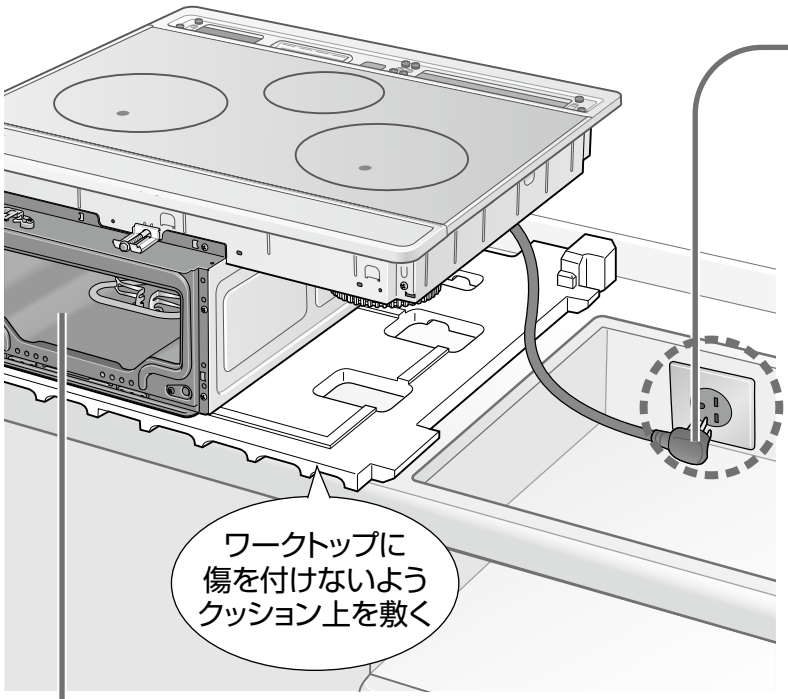


お願い
- ●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。
- ●コンセントは必ず固定してください。（接続・固定が不完全な場合、漏電、火災の原因になります。）

4 本体の設置

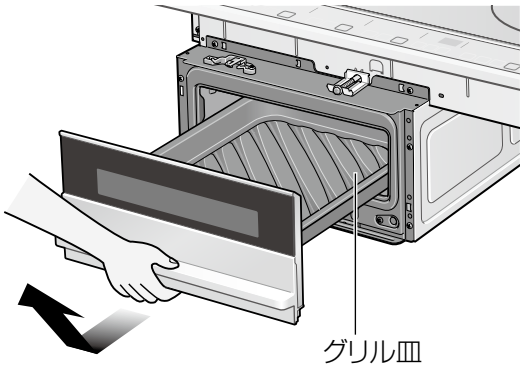
※金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

①電源プラグを差し込み、本体をはめ込む



1 グリルを取り外す（当て紙を外す）

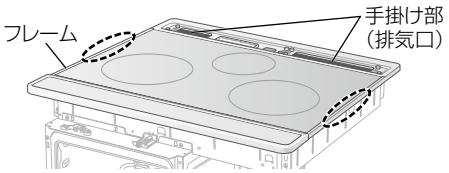
●止まるまで引き出して、斜め上に引き上げる。



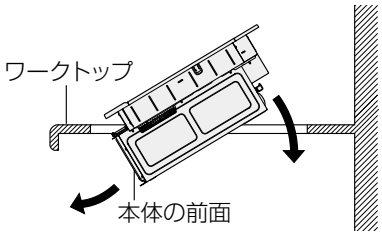
（取り付けは、逆の要領で）

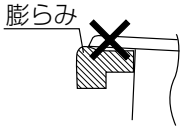
2 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

●フレームの左右部分を持って、本体をはめ込む。
（手を離す時は手掛け部に持ち替える）



●本体の前面を挿入して、全体をはめ込む。





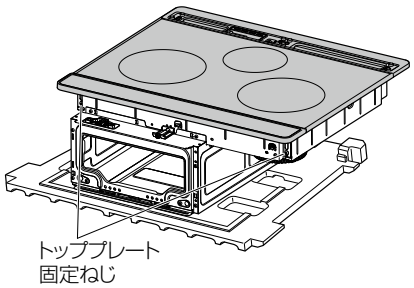
※膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットする。

●前面をワークトップに当てない。（傷が付く原因）

●本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。（本体が浮き、隙間がばらつく原因）

●フレーム下面とワークトップの隙間が、ほぼ均一かどうかを確認する。
※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

■トッププレート固定ねじの締め直し方



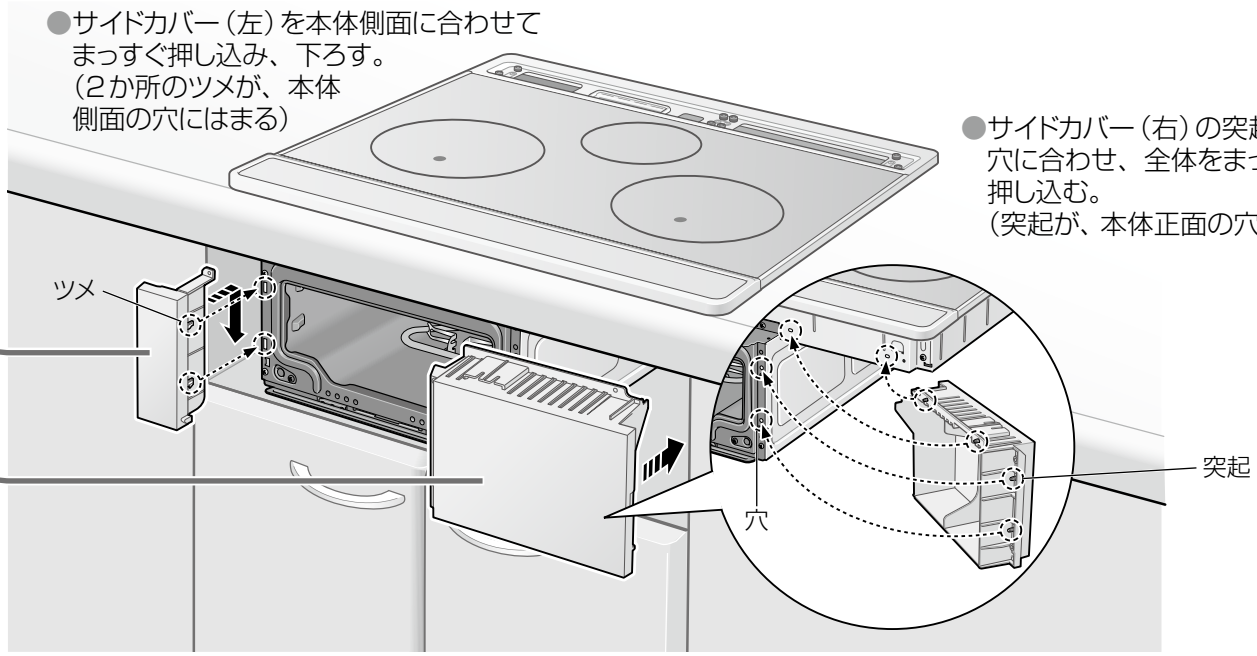
①本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
②トッププレート手前の中央を強く押しながら、締め直す。
③再度ワークトップに本体をはめ込み、隙間がほぼ均一であることを確認する。

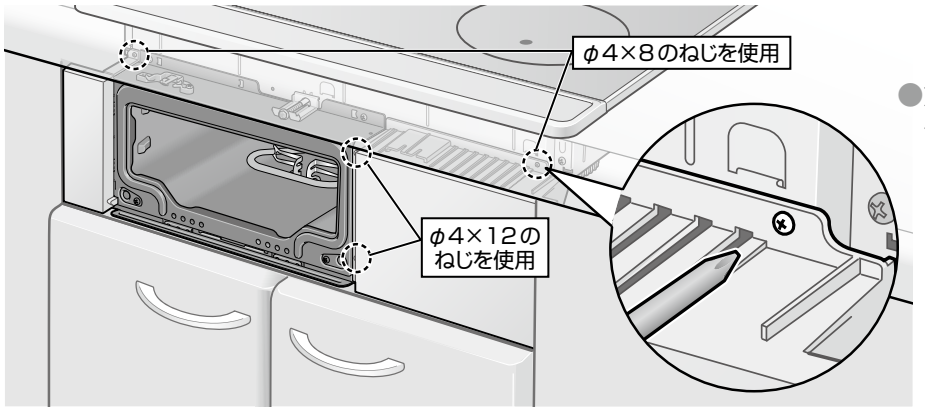
②サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

1 サイドカバー（左右）を取り付け、ねじを締める

●サイドカバー（左）を本体側面に合わせて
まっすぐ押し込み、下ろす。
（2か所のツメが、本体
側面の穴にはまる）

●サイドカバー（右）の突起を
穴に合わせ、全体をまっすぐ
押し込む。
（突起が、本体正面の穴にはまる）





●左右のサイドカバーのねじ穴に
付属のねじで締め付ける
・サイドカバー（左）：上1か所
・サイドカバー（右）：上2か所、下1か所

•ドライバーの先や根元などで製品を
傷付けないようにする。
※先の長い（約70 mm以上）
ドライバーをお使いください。

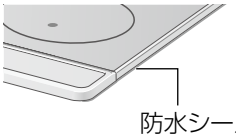
●サイドカバーがキャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。

2 本体の位置を調整する

①キャビネットと本体左右の隙間を均一にする

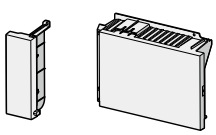
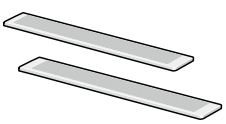
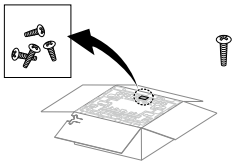
②キャビネットの扉面に本体前面を合わせる

※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。
はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて薄いヘラ状のもので軽く押し込む。



同梱部品

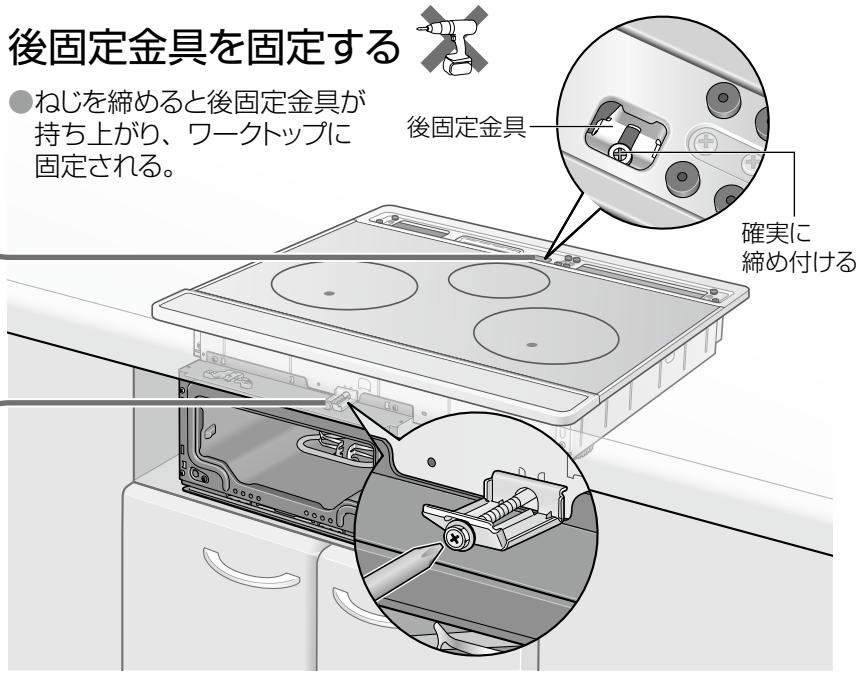
※必ず設置前にご確認ください

サイドカバー：各1個 （左）　（右） 	排気パネル：2枚 	**吸気口カバー**：1個（高さ10 mm） ※本体とワークトップの隙間が大きいときは、高さ24 mmのタイプをあっせんしています。(P.6)	**付属ねじセット**：1個（サイドカバー取り付け用）  …タッピングねじ ・φ4×　8：2本 ・φ4×12：2本 ※すべてM4と同ピッチ

③固定する

1 後固定金具を固定する

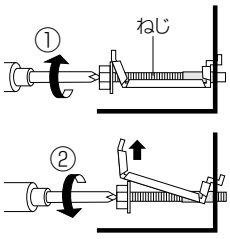
●ねじを締めると後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。



2 前固定金具を固定する

①ねじを緩めて、前固定金具を緩める

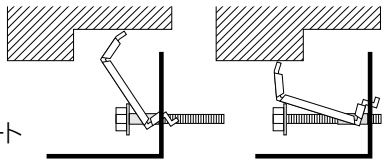
②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する



●ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い（約70 mm以上）ドライバーをお使いください。

電動ドライバーは使わない

●固定後は、トッププレートの左右で傾き・隙間がないことを確認する。
※傾き・隙間がある場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。
（P.4「トッププレート固定ねじの締め直し方」参照）

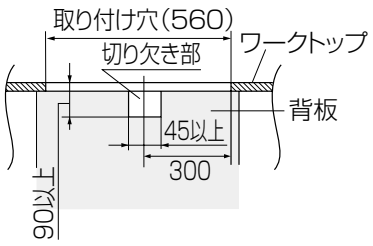


※固定された図（例）
（ワークトップの形状により、前固定金具の固定位置が異なります）

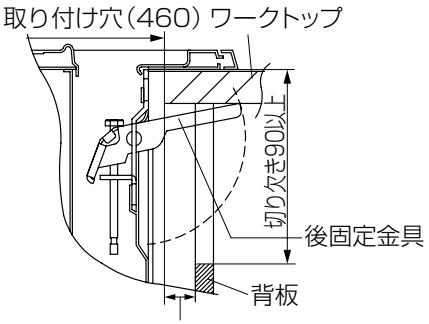
■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45 mm以下の場合は、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。

正面図



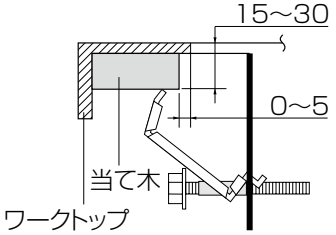
側面図



45 mm以下の場合

■ワークトップの厚みが薄い場合

当て木を添える。

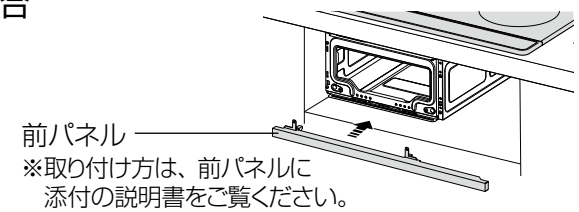


あっせん品（前パネル・吸気口カバー）について

■キャビネット前面の開口寸法が、標準（225 mm）より大きい場合

前パネルを取り付ける。

隙間高さ	前パネル（シルバー）品番	前パネル（ブラック）品番
25 mm用	AD-KZ049S-25	AD-KZ049-25
50 mm用	AD-KZ049S-50	AD-KZ049-50
80 mm用	AD-KZ049S-80	AD-KZ049-80



※取り付け方は、前パネルに添付の説明書をご覧ください。

■本体とワークトップの隙間が大きい場合

高さ24 mmの吸気口カバーを取り付ける。

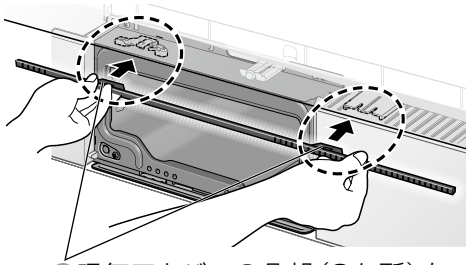
●品番：AD-KZ045CA

お問い合わせ先：パナソニック リビング株式会社
システム部材開発センター
（06）6908-5913

（2025年11月現在）

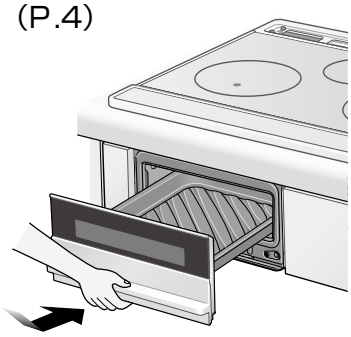
④吸気口カバー・グリル・排気パネルを取り付ける

❶吸気口カバーを取り付ける

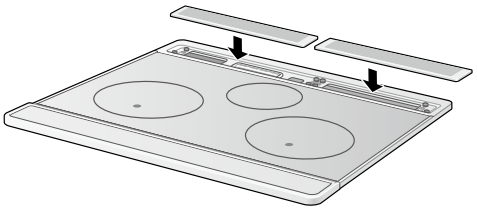


●吸気口カバーの凸部（2か所）を奥まで差し込む

❷グリルを取り付ける
（P.4）



❸排気パネルを取り付ける



換気連動（赤外線）コード・消費電力の切り換えが必要なとき

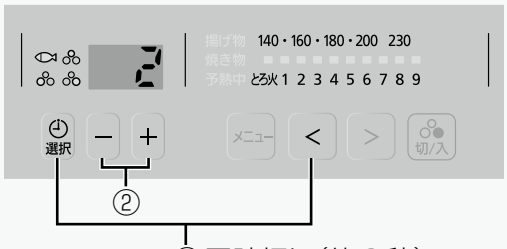
■換気連動（赤外線）コードの切り換え ＜F/J/F（低電気容量）シリーズ＞

出荷時のコードは、「2」に設定しています。

●設置完了後の作動確認❹で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。

0：家製協フォーマット36.7 kHz（旧松下精工レンジフード）
2：家製協フォーマット36.7 kHz（パナソニックレンジフード）
14：NECフォーマット38 kHz（その他のレンジフード）

（タイマー操作部）（右IHヒーター操作部）



電源スイッチを入れ

① 選択 と右IHヒーター操作部の < を約3秒間同時に押す（設定されているコードを表示）

② − + でコードを切り換える（0 ⇄ 2 ⇄ 14）
→表示されたコードで信号を送信する。

レンジフードが作動したコードで

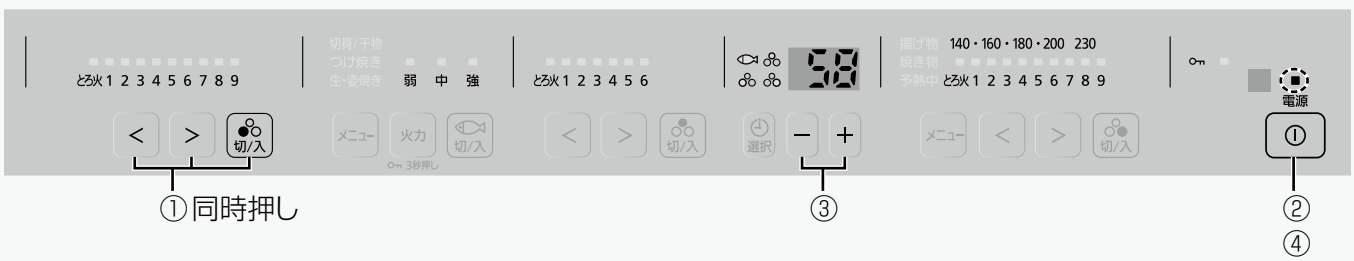
③ 選択 と右IHヒーター操作部の < を同時に押す（切り換え完了）

■総消費電力の切り換え（4800 W/5800 W） ＜F/J/Nシリーズ＞　＊F（低電気容量）シリーズは除く

出荷時は5800 Wに設定しています。

●必ず契約容量ブレーカー（契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー）をご確認いただき、総電気容量が60 A未満の場合は、消費電力を4800 Wに切り換えることをおすすめします。

（左IHヒーター操作部）　（タイマー操作部）



①左IHヒーター操作部の < > 切/入 を同時に押したまま

②電源スイッチを押す（電源ランプが点灯し、58 または 48 を表示したらボタンから指を離す）

③ − + で切り換える（58 ⇄ 48）

④電源スイッチを押す（切り換え完了）

5 設置完了後、確認する

☑ 確認項目

□包装材料の取り外し
- ●当て紙

□同梱部品などの取り付け
- ●排気パネル・サイドカバー・吸気口カバー

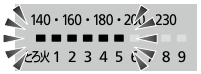
□外　観
- ●本体が前後左右に傾いていないこと　●トッププレートの左右に傾き・隙間がないこと
- ●フレームが浮いていないこと　●グリルが奥まで閉まること
- ●トッププレートが汚れていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出ていないこと

□電気工事
- ●電源電圧が単相200 Vであることを確認する
  ※単相100 Vでは、電源スイッチを入れたときに H20 を表示します。
  ▶ 単相200 Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。
- ●アースが接続されていること　●漏電遮断器が設置されていること
- ●契約容量ブレーカーを確認すること

□作　動

❶電源スイッチを入れる ▶ 電源ランプ点灯。

❷各ヒーターの作動を確認する
- ●左IHヒーター：切/入　（F（低電気容量）シリーズは 切/入 ）
- ●右IHヒーター：切/入　（F（低電気容量）シリーズは 切/入 ）
- ●後ろIHヒーター：切/入
- ●ラジエントヒーター：切/入 → 火力

▶ 表示の点滅を確認する。
- ●左·右·後ろIHヒーター
  

- ●ラジエントヒーター
  しばらくするとヒーターが熱くなる。

❸グリルは 切/入 を押し、作動を確認する ▶ しばらくすると庫内が熱くなる。

<赤外線式換気連動対応のレンジフードの場合：F/J/F（低電気容量）シリーズ>

❹レンジフードが「連動」することを確認する
- ①各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。　→ レンジフードが作動する。
- ②すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。→ レンジフードが停止する。（レンジフードによっては数分間残置運転して停止する）

- ●連動しないとき（「非連動：連動（切）」になっていることがあります）
  - ①タイマー操作部の 選択 と右IHヒーター操作部の ＞ を約3秒間同時に押す。
    oF（切）→ on（入）　・現在の設定を表示したあと表示が変わる
  - ②約3秒後に表示が消える（変更完了）

※「連動（入）」になっているのに、レンジフードが作動しない場合
換気連動（赤外線）コードを切り換えて確認してください。（P.7）
→それでも連動しない場合は、お買い求め先またはお問い合わせ窓口（取扱説明書ご参照）にご相談ください。

■動作確認後は
- ●必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。
- ●取扱説明書（保証書付き）・設置説明書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了確認者印	

設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

パナソニック株式会社　くらしアプライアンス社
〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1－1号
© Panasonic Corporation 2025
ZY16-N87
S1125Y0